

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人光和学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程（昼間部）	はりきゅう学科	夜・通信	1,810 時間	240 時間	
医療専門課程（昼間部）	柔道整復学科	夜・通信	1,265 時間	240 時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1,210 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	スポーツトレーナー学科	夜・通信	570 時間	160 時間	
（備考） はりきゅう学科、柔道整復学科については、学年進行で教育課程の変更途上であるため、今年度に配置されている授業科目により記載。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 光和学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2019.6.11 ～2021.5	光和学園運営全般 について、コンプライ アンスを含め大 所高所からの助言
非常勤	スポーツアドバイザー	2019.5.22 ～2021.5	特色ある個性豊か な学校を目指し、全 国の動向、意識変化 を踏まえた助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人光和学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>カリキュラム並びにシラバスの策定に当たっては、学科毎に学科長が取り纏め、教務部長が統括する。カリキュラム並びにシラバスは、年度末までに作成を完了し、作成されたカリキュラムが掲載されている学生便覧を、翌年度入学生に配布し、シラバスは翌年(毎年)4月にホームページで公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習意欲の把握は、全学生へ個人面談を実施することや、保護者会を開催することにより、学生の現況把握に努めている。</p> <p>成績の評価は、定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験等並びに実習・実技の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。学則第12条(成績の評価)の規程に基づき、授業科目の成績評価はS～Dの5段階評定にて表し、単位授与を厳格かつ適正に実施している。</p> <p>各学科の学習成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与(又は履修認定)を実施している。</p> <p>成績については、不合格者(D評定)に対して再試験やレポートを課すなどし、進級並びに卒業要件を満たすための機会を与えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績の評価は、定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験等並びに実習・実技の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行うこととし、授業科目の成績評価はS～Dの5段階評定にて表す。さらに、5段階評定を元に、あらかじめ設定した算出方法によりG P A等の数値を算出し、学年毎の成績分布状況並びに学生毎の成績状況を把握し、客観的な指標として適切に実施している。</p> <p>(G P Aの算出方法)</p> <p>学年G P A = (当該学年に評価を受けた授業科目のG P ×当該授業科目の単位数) の合計 ÷当該学年に評価を受けた授業科目の単位数の合計</p> <p>累積G P A = (在学全期間に評価を受けた授業科目のG P ×当該授業科目の単位数) の合計 ÷在学全期間に評価を受けた授業科目の単位数の合計</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定に関する方針として、本校は医療従事者・介護技術者及びスポーツトレーナーとして必要な知識・技術・技能及び態度を習得させ、健康な心身と豊かな人間性を養い、医療・保健・福祉及びスポーツの充実発展に貢献し得る能力を備えたものに専門士を付与する。</p> <p>卒業は、所定の課程を修了した者について、卒業判定会議を踏まえ、学校長が決定する。なお、判定に当たっては、その年度に実施した定期試験、総合学力判定試験、卒業見込み判定試験及び実技能力（認定実技）審査の結果、各学生の科目ごとの年間出席授業時数を考慮する。卒業の認定に関する方針や、学習の習得単位数等を踏まえ、卒業を認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	信州スポーツ医療福祉専門学校
設置者名	学校法人光和学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
財産目録	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
事業報告書	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) はりきゅう学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程 (昼間部)	はりきゅう学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,695 (単位時間) / 単位	1,885 (単位時間) / 単位	単位時間 / 単位	630 (単位時間) / 単位	単位時間 / 単位	180 (単位時間) / 単位
		単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		56人	0人	7人	3人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容についてはシラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定に当たっては、学科毎に学科長が取り纏め、教務部長が統括する。
成績評価の基準・方法
（概要） 定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の実習及び履修状況等を総合的に勘案卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は出席時数及び各種試験成績の評価、操行勤怠等考慮。ただし、はり師・きゅう師を目指すものにあつては、（公社）東洋療法学校協会が主催する認定実技審査に合格することが前提。進級は通年での定期試験評価が平均60点以上とする。
学修支援等
（概要） 個人面談、三者面談を実施するなど常に情報を取り合うこととしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (%)	6人 (33.3%)	12人 (66.7%)
（主な就職、業界等） 鍼灸院5名 一般企業1名			
（就職指導内容） 医療系学科の合同就職説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師 受験者数17名中、合格者数15名（88.2%） きゅう師 受験者数17名中、合格者数16名（94.1%）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	2人	3.2%
（中途退学の主な理由） 学業不振 家庭環境 病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 成績不審者に対するフォローアップ。三者面談等情報の共有、学習発表会等の開催によるモチベーションの向上		

（2）柔道整復学科

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程 （昼間部）	柔道整復学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,860 単位時間/単位	1,210 単位時間/単位	単位時間/単位	690 単位時間/単位	単位時間/単位	960 単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	127人	0人	6人	7人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容についてはシラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定に当たっては、学科毎に学科長が取り纏め、教務部長が統括する。

成績評価の基準・方法 (概要) 定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の実習及び履修状況等を総合的に勘案
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業認定は出席時数及び各種試験成績の評価、操行勤怠等考慮。ただし、柔道整復師を目指すものにあつては、(公財)柔道整復研修試験財団が主催する認定実技審査に合格することが前提。進級は通年での定期試験評価が平均 60 点以上とする。
学修支援等 (概要) 個人面談、三者面談を実施するなど常に情報を取り合うこととしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34 人 (100%)	0 人 (%)	31 人 (91.2%)	3 人 (8.8%)
(主な就職、業界等) 整骨院・接骨院 28 名 介護施設 1 名 診療所 1 名 一般企業 1 名			
(就職指導内容) 医療系学科の合同就職説明会の開催			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 柔道整復師 受験者数 31 名中、合格者数 29 名 (93.5%)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127 人	9 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 学業不振 家庭環境 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 成績不審者に対するフォローアップ。三者面談等情報の共有、学習発表会等の開催によるモチベーションの向上		

(3) 介護福祉学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,995 単位時間/単位	1,285 単位時間/単位	230 単位時間/単位	480 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		53人	0人	4人	11人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容についてはシラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定に当たっては、学科毎に学科長が取り纏め、教務部長が統括する。
成績評価の基準・方法
（概要） 定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の実習及び履修状況等を総合的に勘案
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定は出席時数及び各種試験成績の評価、操行勤怠等考慮。進級は通年での定期試験評価が平均60点以上とする。
学修支援等
（概要） 個人面談、三者面談を実施するなど常に情報を取り合うこととしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (%)	28人 (90.3%)	3人 (9.7%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム16名 介護老人保健施設2名 グループホーム6名 障害者施設1名 病院3名			
（就職指導内容） 合同企業説明会への全員参加			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士 受験者数31名中、合格者数22名（71.0%） （社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律により、国家試験不合格者につ			

いても「介護福祉士となる資格を有する者」とする経過措置（令和4年3月31日までに介護福祉士養成施設を卒業した者が対象）がなされている。）

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 学業不振 家庭環境 進路変更（過去に退学者が出た際の理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 成績不審者に対するフォローアップ。三者面談等情報の共有、学習発表会等の開催によるモチベーションの向上		

（4）スポーツトレーナー学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツトレーナー 学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,815 単位時間/単位	780 単位時間/単位	915 単位時間/単位	120 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		35人	0人	3人	7人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程は、学則に定めるところのカリキュラム表のとおり実施し、その授業方法や内容についてはシラバスに定める内容に沿って実施する。カリキュラム並びにシラバスの策定に当たっては、学科毎に学科長が取り纏め、教務部長が統括する。
成績評価の基準・方法 （概要） 定期試験、総合学力判定試験、卒業判定試験等の実習及び履修状況等を総合的に勘案
卒業・進級の認定基準 （概要） 卒業認定は出席時数及び各種試験成績の評価、操行勤怠等考慮。進級は通年での定期試験評価が平均60点以上とする。
学修支援等 （概要） 個人面談、三者面談を実施するなど常に情報を取り合うこととしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 令和元年度が完成年度のため、卒業生数0			
（就職指導内容） 医療系学科と同時開催する合同就職説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） キャンプインストラクター、救急法救急員（2年生20名全員取得）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 成績不審者に対するフォローアップ。三者面談等情報の共有、学習発表会等の開催によるモチベーションの向上		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
はりきゅう学科	400,000 円	900,000 円	400,000 円	その他の内訳 (施設設備費、実習費)
柔道整復学科	500,000 円	900,000 円	400,000 円	その他の内訳 (施設設備費、実習費)
介護福祉学科	200,000 円	650,000 円	250,000 円	その他の内訳 (施設設備費、実習費)
スポーツトレーナー学科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	その他の内訳 (施設設備費、実習費)
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員は、本校卒業生、関係業・団体、中・高等学校関係者、保護者、地域住民などで構成する。 評価項目として、「学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境、学生募集と受入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献」などを設け、評価委員会が評価項目ごとに評価を実施する。 評価結果に基づき、教育活動その他の学校運営の改善等に、評価項目ごとに意見を踏まえた取り組みを実施することで活用を図り、改善状況を学校関係者評価報告書に取り纏め、公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(公社) 長野県柔道整復師会	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	企業等委員
(一社) 長野県針灸師会	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	企業等委員
(一社) 長野県はり灸マッサージ師会	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	企業等委員
(公社) 長野県介護福祉士会	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	企業等委員
校友会	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	卒業生
ほり鍼灸院	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	卒業生
はりきゅう学科保護者	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	P T A
柔道整復学科保護者	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	P T A

介護福祉学科保護者	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	P T A
三輪田町区	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	地域住民
高等学校	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	高等学校
特定非営利活動法人私立専門学校等 評価研究機構	平成 29 年 9 月 1 日～ 令和元年 8 月 31 日 (2 年)	専修学校
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kowagakuen.ac.jp/about/info-disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kowagakuen.ac.jp
--